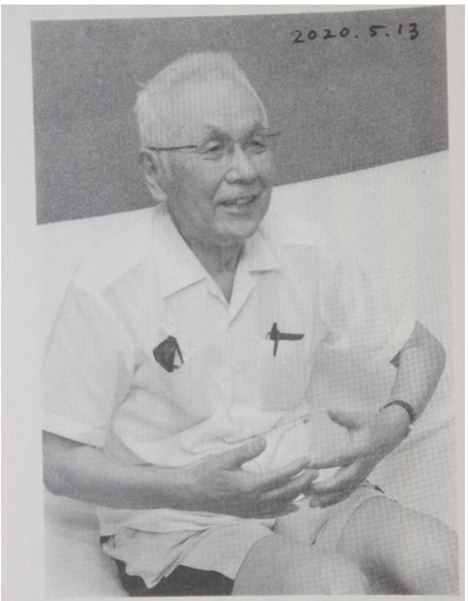
昭和町風土伝承館　杉浦醫院だより　7月(2026)NO・74

第１０回地方病人物伝

加茂悦爾（南アルプス市）　　巨摩共立病院名誉院長

加茂家は代々医業に携わった家系である。在地は南アルプス市小笠原、現在の建物は国の登録有形文化財に指定されている。

加茂も小さい頃は、父から「水に入るな」と注意され、この地方には「お腹のはる病気」があることも知っていたという。友達と釣りに行く時も、川に入らないように気を付けていたそうである。



新聞社のインタビューを受ける
加茂悦爾氏

昭和３８年　急性地方病最後の患者

当時、山梨県には医科大学がなく加茂は信州大学に進む。卒業して最初の赴任地は山梨県立病院。ここで初めてお腹の腫れた患者と出会い、腹水もとったという。

昭和３３年、脳症状の患者を診察して、せき髄液を採取し顕微鏡で初めて「日本住血吸虫の卵」を見た時は、とても興奮したという。

※その時のスケッチ（住血吸虫の卵）は『地方病を語り継ごう』（昭和町教育委員会発行）に載っている。

その後、第１厚生病院、甲府共立病院に勤める。甲府共立病院に勤めていた昭和３８年、水田の脇で電柱を立てていた電力会社の職員が、急性の地方病に罹り、その患者を診察したのが、地方病患者をみた最後であった。

吉沢での住民健診

甲府共立病院勤務２年目、厚生病院が倒産したが、加茂らの尽力で昭和４０年「巨摩共立病院」として再出発する。

昭和４３年に国立予防衛生研究所と千葉大寄生虫教室と共同で敷島町（現甲斐市）の吉沢地区の住民健診を行った。住民３１７名の成人の心電図の分析から「日中症は心臓にも影響する」との結論を得て、学会や学会雑誌にも発表した。また、この頃は、虫卵が検便で次第に見いだせなくなっていた時期であり、加茂は、診断に皮内反応検査や直腸生検も併用して行っていた。

「日虫性肝硬変症の免疫病理学的研究」（博士論文）に挑戦

加茂と杉浦家との関わりは、昭和４１年加茂の父の葬儀の時、杉浦三郎に会い、その時「今までの研究をまとめて学位をとりなさい」と助言されたのがきっかけで、博士論文への挑戦を決めたそうである。

毎週金曜日、早朝松本（信州大医学部病理学教室）に通い、世界中の文献を集め、動物実験を繰り返す日々を過ごし、約１０年かけ日本住血吸虫症と肝硬変の関連についてまとめた論文「日虫性肝硬変症の免疫病理学的研究」を書き上げる。

「早朝に自宅を出て、大学で研究し、その日のうちにとんぼがえり、体力的にも厳しい日々だった」（２０１８年６月１２日山日）

プラジカンテル臨床試験

巨摩共立病院での日常診察はすべて慢性日虫症の患者さんであった。薬は、当初はスチブナール、その後アンビハールを使用していたが、昭和５０年に国立予防研究所から「ドイツバイエル社の新薬が日本で効くか確認してほしい」という依頼を受け、加茂が臨床試験を行う。安全性が確認され「プラジカンテル」という名称で全世界で使用されるようになった。

また、加茂は１９７３年に、県地方病治療研究会のメンバーとなり流行終息宣言にあわせて同会が発行した「地方病診察マニュアル」の執筆にも携わった。

加茂は、国際交流にも努め、ドイツ、ワルシャワ、アメリカ、中国などにも訪問して各国の研究者と交流した。

油断大敵

『地方病を語り継ごうー流行終息宣言から２５年―』（昭和町教育委員会）に寄稿文を寄せた加茂は、最後の文章でこう書き記している。

「地方病流行終息２５周年にあたり特に注意を喚起したいことがある。それは。まだ県内各地のあちこちに宮入貝が多数生息している事実である。外来伝染病が新型コロナのようにいつ侵入してくるかわからない。同様に地方病もまたいつ復活するかわからい油断大敵である」

現在、地方病の患者を実際に診察したことのある医師は加茂しかいない。

※参考文献

・『地方病を語り継ごうー流行臭素機宣言から２５年―』

（昭和町教育委員会　２０２２年）

地方病教育推進研究会　HP を開設

ー設立３周年　活動や歴史発信ー

地方病教育推進研究会が開設した HP

地方病の歴史を次世代に伝える活動に取り組む「地方教育推進研究会」が、設立３周年を記念して、ホームページ（HP）を開設しました。

HP では、日本住血吸虫が発見された経緯や中間宿主となるミヤイリガイを官民一体で駆除した歴史などをまとめています。

遠藤美樹さん（代表、事務局長）は「流行終息宣言から３０年がたった今、地方病への関心の高まりを感じている。地方病を知る入口として、是非利用してほしい」と話しています。

この研究会の事業内容は、①体験者への聞き取り②資料収集や整理③出前講座④児童生徒向け教材の開発などです。

杉浦医院の事業とも重なる部分が多いので「地方病教育推進研究会」とは、全面的に協力、支援していきたいと思っています。

ホームページ内には、遠藤さんが投稿するブログも紹介しています。そちらも併せてご覧ください。

ホームページはこちらから